

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第 253 集

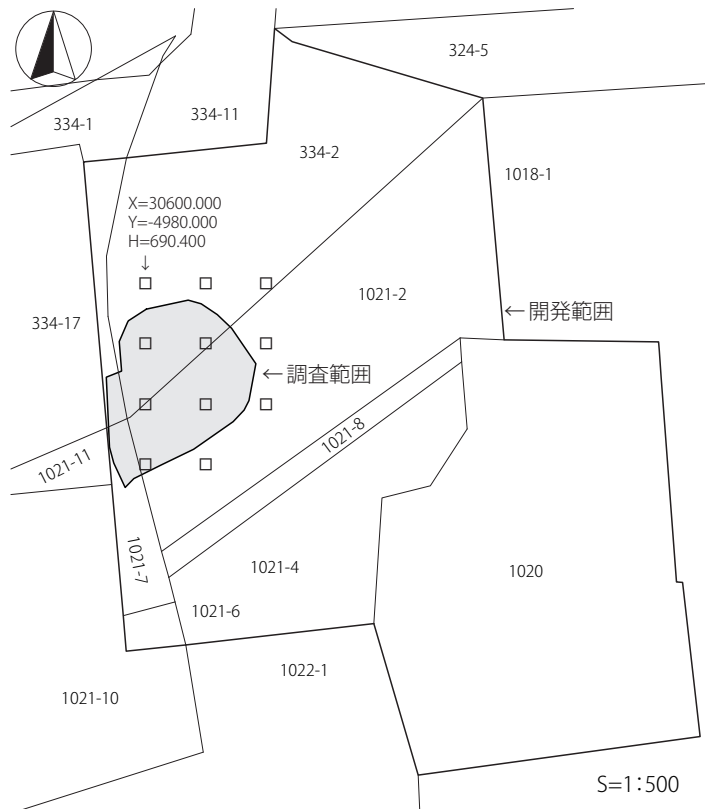
家地頭古墳群

家地頭 2 号墳

長野県佐久市常田家地頭 2 号墳発掘調査報告書

2018.03

佐久市教育委員会



第2図 調査範囲図 (1:500)

存在する。これらの残丘は古墳とみまちがう形状のものも多く、「塚原」という地名はこれに由来する。また、これらの残丘を利用した古墳も多く、この地域及び周辺部には多くの古墳群が存在している。

遺跡の周辺では、本古墳の130m北北西方向に位置する1号墳の調査が昭和50年に実施されている。残丘の頂部に構築された古墳であり、石室の構築材は塚原泥流の多孔質集塊岩を多用していた。埴輪を伴う古墳であり、6世紀後半の築造と思われる。

今回、2号墳を内包する地籍で小池孝司氏によるアパート新築造成工事が計画された。2号墳の残存状態は極めて悪いため試掘調査を実施し古墳であるか否かを確認した結果、古墳であることが確認された。保護協議を行ったが古墳の保存は不可能なため、記録保存を目的とした発掘調査を行うこととなった。なお、開発範囲には2号墳以外の遺構は確認されなかった。

2 調査体制

調査主体者 佐久市教育委員会
 事務局 社会教育部
 文化振興課
 文化財調査係

教 育 長
 部 長
 課 長
 企 画 幹
 係 長
 係

臨時職員
 調査担当者
 調 査 員

棚澤晴樹
 荻原幸一
 小林義夫
 小林登志朗
 大塚広樹 (9月まで) 塩川宏幸 (10月から)
 小林眞寿 富沢一明 上原 学
 久保浩一郎 岩下 琴
 森泉かよ子
 小林眞寿
 岩松茂年 小林喜久子 羽毛田利明
 宮川真紀子 山口ひとみ 山田叔正
 油井満芳



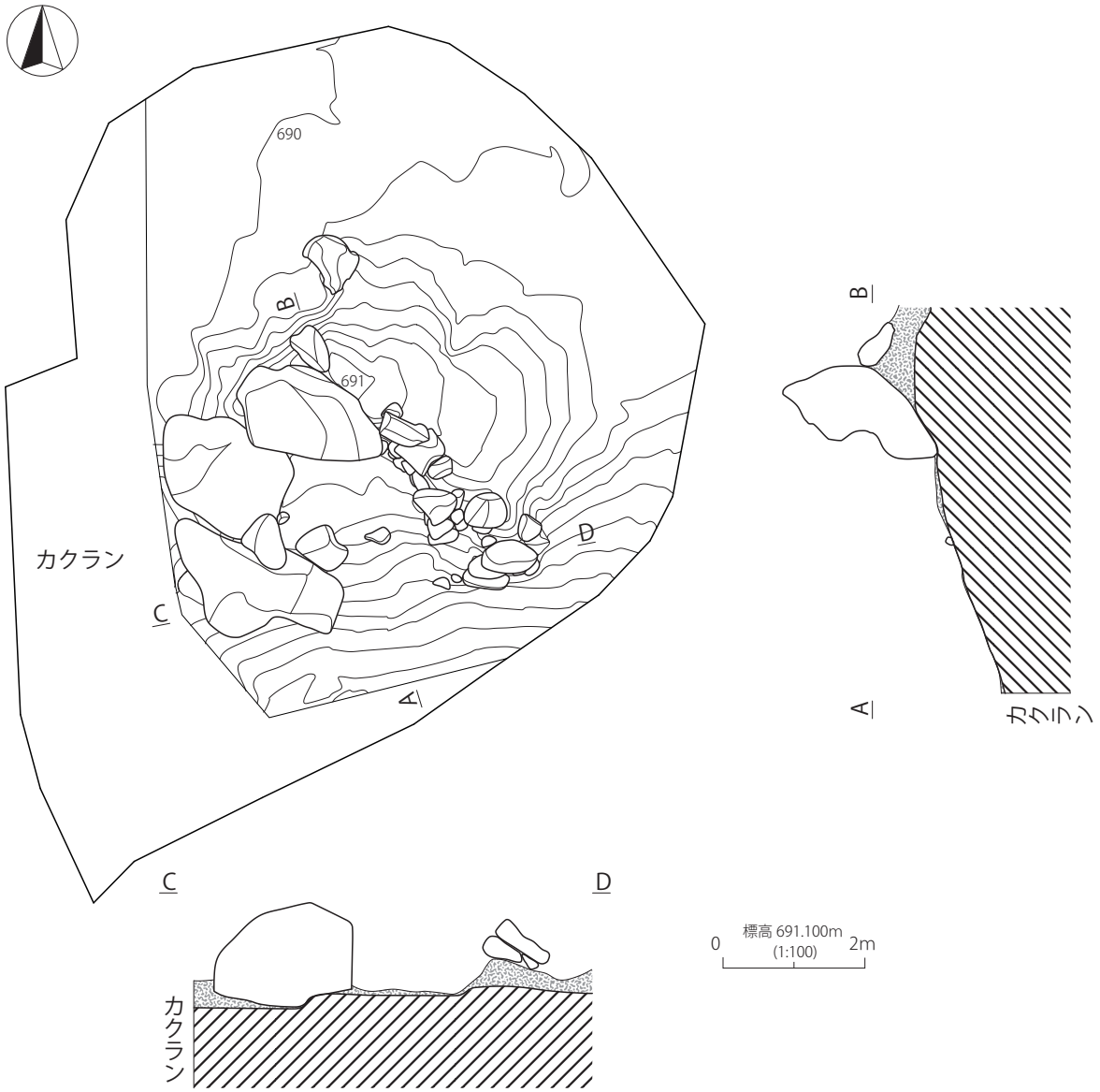
昭和47年航空写真

II 古墳の調査

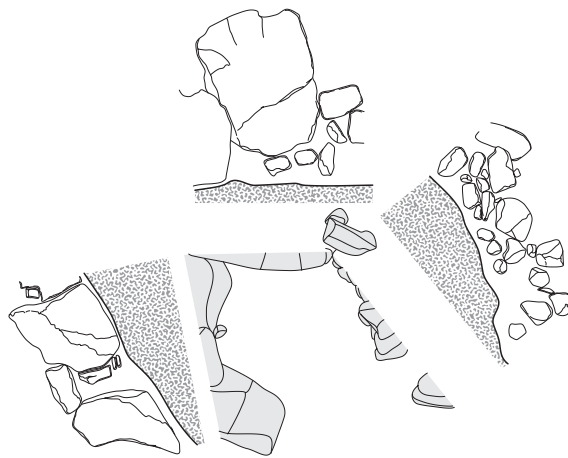
1 古墳と石室

(1) 墳丘 (第2・4図)

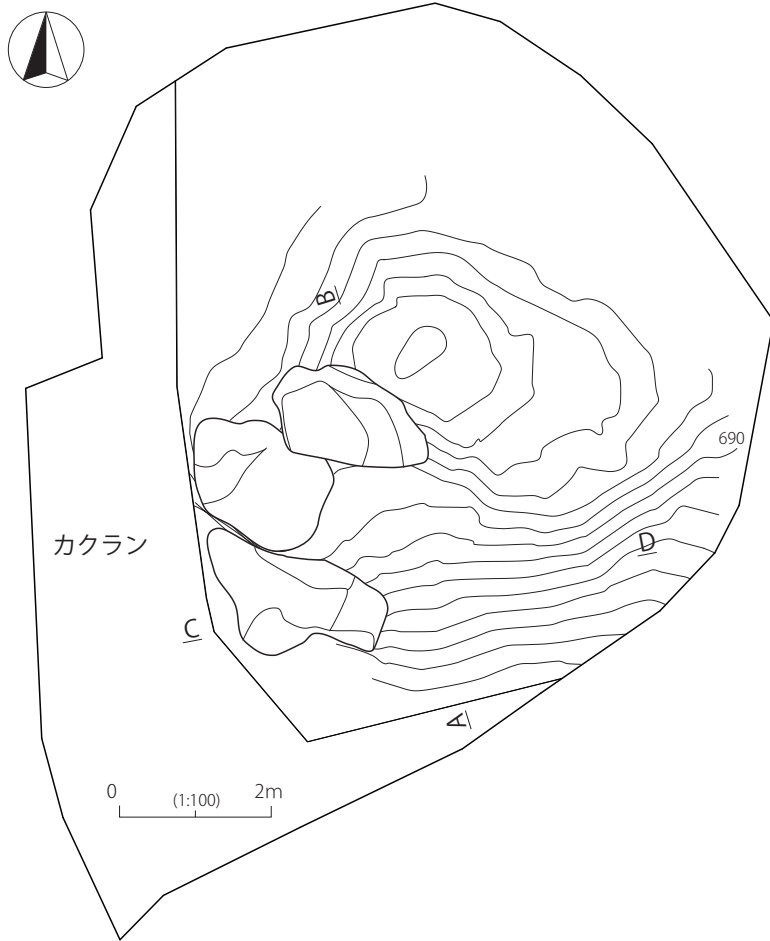
古墳は、浅間山塚原泥流の残丘を利用し造られている。露出した多孔質集塊岩を石室に利用するために頂部からわずかに西よりに石室奥壁が配置され、東南方向に開口する。長年におよぶ耕作及び、西隣の宅地造成時の擁壁工事による破壊を受け原型は留めていないが円墳であった



第2図 家地頭2号墳平面図 (1 : 100)



第3図 家地頭2号墳石室展開図 (1 : 100)



第4図 家地頭2号墳掘方平面図 (1:100)

(3) 遺物

以上のような状態であるため、出土遺物は皆無であった。

Ⅲ まとめ

家地頭2号墳は、極めて残存状態が悪い古墳である。執拗な破壊を受け続けた結果、遺物は完全に消失し、その年代を知るすべもない状況であった。

家地頭古墳群で調査が実施されている家地頭第1号古墳とは、残丘を利用した立地や、石材等に類似点が多いが、これは古墳群が存在する地域の環境に依存する要因であり、おそらく古墳群内の他の古墳も同様であろうと思われる。

原因者の理解により、記録保存という必要最低限の措置がとれたことに深く感謝申し上げる次第である。

ものと推測される。地山である塚原泥流層上には古墳構築土と思われる部分も残存するが、耕作によるカクランが著しく判断が難しい。周溝、外護列石、裏込石は確認されなかった。推定される墳丘規模は径10m程度と思われるが、墳丘高については皆目見当がつかない。

(2) 石室 (第3図)

石室は横穴式で、玄門から羨道部分は残存しない。奥壁と西側壁が破壊により歪んだ状態にあり、位置的にも原位置を保持していない。石質は多孔質集塊岩である。調査時点では3個の石に分離していたが、本来は1個の岩であったと思われる。この岩は残丘本体の露出部分であり、これを石室に流用していたものと思われる。この岩には、取り除こうとして付いた数多くの傷が残されていることから、当初は全く異なる形状であった可能性も高い。東側壁は2～3段の石積みが残っているが、状態は悪い。石質は多孔質集塊岩が大半を占めるが、安山岩も2個使用されている。床面は本来よりもかなり深く掘り下げられており、礫床面は残存していない。入口に向かい傾斜しており、床面状には後世に炭を焼いた痕跡や、現代の遺物が埋まっていた。



平成6年航空写真



家地頭 2号墳完掘（東から）



家地頭 2号墳東側壁



家地頭2号墳西側壁



家地頭2号墳掘方（北東から）

報告書抄録

ふりがな	やちがしらこふんぐん やちがしら2ごうふん
書名	家地頭古墳群 家地頭2号墳
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財調査報告書 第253集
編集者名	小林眞寿
編集機関	佐久市教育委員会
発行機関	佐久市教育委員会
発行年月日	20180331
郵便番号	385-0051
電話番号	0267-63-5321
住所	長野県佐久市中込2913
ふりがな	やちがしらこふんぐん やちがしら2ごうふん
遺跡名	家地頭古墳群 家地頭2号墳
ふりがな	ながのけんさくしときだ334-2、つかばら1021-2ほか
遺跡所在地	長野県佐久市常田334-2、塚原1021-2他
遺跡番号	33-2
北緯	36.16.32.8739
東経	138.26.41.0011
調査期間	20170703 - 20170725

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第253集
家地頭古墳群 家地頭2号墳
平成30(2018)年3月

編集・発行 佐久市教育委員会
〒385-8501 長野県佐久市中込3056
社会教育部 文化振興課文化財事務所
〒385-0051 長野県佐久市中込2913
TEL 0267-63-5321

印刷所 キクハライНК有限公司